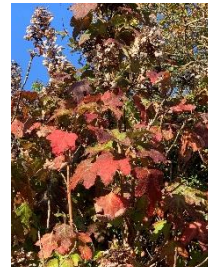


アルファガーデン 11月の見どころ

※その年の気候により開花時期はずれることがあります



紅葉が進む季節です。淡路島は暖かいのであまり紅葉は見事ではありませんが、当校の四季の庭のモミジの紅葉は左の写真(地図①)のようになります。この他、学内では、下の写真左から、サルスベリ、オウゴンカシワ、カシワバアジサイの葉が色づきます。



【花木類(花や実を観賞する樹木)】 秋も深まり実がついてきています。



②ピラカンサ

トキワサンザシ、タチバナモドキなどを総称してピラカンサという。赤、橙、黄などの実が美しい。



③モッコク

常緑中木。庭木によく使われる。



④ガマズミ

全国に分布する落葉低木。実は食べられる。



⑤カマツカ

木質が強く折れにくいので鎌をはじめ農具の柄に使われた。



⑥ハクサンボク

ガマズミ属の常緑小高木。西日本に多い。



⑦ナンテン

難を転じるという縁起物で、庭木によく植えられる。



⑧キャラボク

イチイの変種。雌雄異株なので、雌株にしか実はつかない。



⑨ヒイラギモチ

クリスマス飾りによく使われる。中国原産。



⑩クロガネモチ

クリスマス飾りによく使われる。中国原産。



⑪ハンカチノキ

中国奥地で発見された樹木。



⑫カリン

香りのよい実は生食はできないが果実酒などに最適。



⑬ザクロ

西南アジア、中東原産で、最も古くから栽培された果樹の一つ。



⑭コーストバンクシア

オーストラリア固有種の樹木。乾燥に強い。



⑮ヒイラギ

(斑入り) モクセイの仲間、花に芳香がある。



⑯ナワシログミ

垣根などに使われる常緑低木。花には甘い香りがある。

【草花類】

◆日本に自生のある野生菊 (当校では植栽しています。)



⑰ノジギク

兵庫県の県花。瀬戸内海の海に近いエリアに自生するが、変異が多い。



⑱イソギク

千葉～静岡の太平洋側海岸に自生。日本固有種。黄色の筒状花のみ。舌状花のあるものをハナイソギクという。



⑲ハマギク

青森から茨城の太平洋側海岸付近に自生する。日本の固有種。



⑳ダルマガク

中国地方から九州の日本海沿岸に自生するが、個体数は減っている。



㉑ノコンギク

(淡路産) 田畑の畔に多い野菊。

◆ 秋を彩るサルビア類 ㉒のエリア



サルビア・レウカンサ 4 種。

サルビア・レウカンサはメキシコ原産の大型宿根草。左から萼片も花も赤紫の‘ミッドナイト’、葉に斑が入った品種、原種に近い萼片が赤紫に花が白い品種、萼片が白で花がピンクの‘ピンクアメジスト’。

⑩サルビア
‘ビッグブルー’
ファリナセア系の園芸
品種。

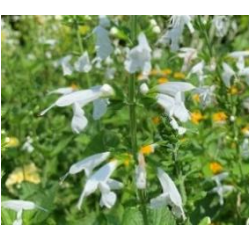


サルビア・エレガンス（パイナップルセージ）
葉をもむとパイナップルの香りがする。右写真は
葉が黄色の‘ゴールデンデリシャス’。

サルビア
‘アンソニーパーカー’
エレガンスとレウカンサの自
然交雑品種。

コバルトセージ
葉が糸のように細い。コバル
トブルーの色が特に秋は美
しい。

サルビア・インボルクラタ
（ローズリーフセージ）
夏ごろから咲き、花序の頂部の
苞が球体になる。



サルビア・アズレア
アズレアは空色の意味。
草姿は暴れるが、切り戻
しなどで調整できる。

サルビア・ガラニチカ
初夏～秋まで長く咲く。南米
原産。地下部に球根を形成
し、耐寒性も強い。

サルビア・コクシネア
一年草として扱われるが、暖かい淡路では宿根する場合もある。
左から‘レディインレッド’、‘コーラルニンプ’、‘ホワイトニンプ’。

◆ その他の草花類



㉓シュウメイギク
古い時代に中国から渡来した。別名キブネギクと呼ばれる
赤花の八重を指す名だが、現
在は数種類の交配されたもの
の総称。多品種ある。キクの仲
間ではなく、キンポウゲ科アネ
モネ属。



㉔ホトトギス
当校に植栽されているも
のは日本産のものでなくタ
イワンホトトギス系の園芸
品種。花の斑点が鳥のホト
トギスの胸の模様に似てい
ることが名の由来。



㉕ミセバヤ
美しく、多肉性で丈夫で、
古くから園芸栽培され、全
国に逸出して見られるが、
自生種ははっきりしていな
い。同属のヒダカミセバヤ
やアポイミセバヤ、エゾミ
セバヤなどあり、山野草とし
て栽培される。

